

第19回日本レクリエーション学会 大会開催にあたって

日本レクリエーション学会

会長 浅田 隆夫

日本レクリエーション学会は、発足以来四半世紀を経るに至りました。

わたくし達の生活も今や漸く週休二日制を迎え、レジャー時間も多くなり、レクリエーションの意味の拡大とともに、つとに各自のライフ・スタイルにコミットしたレクリエーションの在り方と実行が期待されるようになりました。

これに伴ってここ十年間における本学会の研究動向も意欲的に変化し、レジャーと経済の豊かさにつれてレクリエーションを行動科学的に方向づけ、これをレクリエーション需要やレジャー・マーケットなど、経済的視点から方向づけようとするものが多くなりました。

試みに、本学会における過去数年間の発表について検討してみますと（決して多いとは言えませんが）、おおよそ「意識・行動に関するもの」（37%）、「教育・指導に関するもの」（30%）、「歴史・原論に関するもの」（16%）、「施設・環境に関するもの」（10%）、「方法・測定に関するもの」（5%）となり、以下「集団・組織」や「レクリエーション運動」、「指導者」、「健康」に関するものが僅かにあるといった傾向です。

ある雑誌にも触れたことがあります。レクリエーション研究の難しさは、『レクリエーションとは何か』といった本質的な事柄が解りにくい点にあると思われます。これは、レクリエーション現象は、ある程度とらえられても、それが果してレクリエーションなのか否かは、現象の主体者によって主観的に判断されるしかしかたのないものだからです。それだけに、レクリエーション研究は、対象の限定を厳密に行うことが特に大切なことだと思っております。

このように考えますと、レクリエーション研究は、主として自分の持ち味を生かした生活の考え方や態度、すなわち、ゆとりをもって、無理をしないで余り気張らずに、自分のできることをゆっくりと楽しみながら、といった態度から生まれてくるもののように思います。

どうかこのような気持ちでお出掛け頂き、そしてみんなで相互に学習をしていきたいと思っております。

会員の皆様はもちろん、会員以外の方々の参加も大いに歓迎しておりますので、是非ご参加いただき、現在のレクリエーションの理論・実践の具体的な動向を知っていただければ幸いに思います。

日本レクリエーション学会 第19回大会開催要領

1. 主 催 日本レクリエーション学会
2. 主 管 日本レクリエーション学会第19回大会実行委員会
3. 日 時 平成元年 8月27日(日)・28日(月)
4. 場 所 セントラルホテル フ ク オ カ
〒810 福岡市中央区渡辺通り4丁目1の2
☎ 092-712-1212
5. 日 程
- 8月27日(日)
- 14:00 受 付
基調講演
シンポジウム
- 17:00
- 18:00
懇 親 会 (セントラルホテル)
- 20:00
- 8月28日(月)
- 8:30 受 付
- 9:00
研究発表
- 11:40
- 12:00 理 事 会
- 13:00 総 会
- 14:00
研究発表
- 16:00 終 了

6. 研究発表申込みについて

第19回学会大会発表論文集への原稿提出をもって、発表申込みと致します。

第19回日本レクリエーション学会大会

◎ 総合テーマ

「魅力あるレクリエーション行動に向けて」

◎ 基調講演

「人間にとって遊びとは何か、そして今」

～比較生活文化の視点から～

原子 令三 氏 : 明治大学教授(人類学)

◎ シンポジウム

「人間にとって遊びとは何か」

・地域生活文化の立場から

岡部 定一郎 氏 : 東洋開発株式会社

取締役企画部長

・企業レクリエーションの立場から

石川 文雄 氏 : 日本アイ・ビー・エム株式会社

人事厚生次長

・ディベロッパーの立場から

藤 賢一 氏 : 福岡地所株式会社

常務取締役営業本部長

・司 会

秋吉 嘉範 : 福岡教育大学教授

(日本レクリエーション学会監事)

日本レクリエーション学会第19回大会実行委員会

委員長 田中 鎮雄 (理事長)

事務局 寺島 善一 (総務)

黒田 信寛 (財務)

飯田 稔 (研究)

吉田 章 (編集)

鈴木 秀雄 (広報)

大谷 善博 (九州支部)

芳賀 健治 (幹事)

星野 敏男 (幹事)

師岡 文男 (幹事)